

# 建築学専攻

平成 31 年 4 月期入学志願者用（第 2 次試験）

## I. 志望区分

系	主要研究内容	指導教授
構造系	建築構造力学 構造解析学 構造安定論 建築設計力学 大スパン構造 シェル構造 建築構造最適化	大崎 純
	鉄筋コンクリート構造学 複合構造学 耐震構造学 耐火設計 プレストレスト・コンクリート構造学 構造材料学	西山 峰広
	鉄骨構造学 合成構造学 高性能材料工学 溶接・接合工学 建築施工システム 空間構造計画学	*
	建築・都市保全再生 地震工学 災害リスクマネジメント 構造デザイン論 伝統木造	林 康裕
	制振構造 建築動力学 耐震設計法 建築地盤工学 構造最適設計・逆問題 耐震補強 システム同定	竹脇 出
	材料・構法創生学 破壊力学の応用 セメント系材料と高性能合金 構造接合法と環境共生 損傷制御とスマート構造	金子 佳生
	地震環境工学 地盤震動論 地震ハザード解析 地震荷重論 地盤-建物系非線形応答解析	松島 信一
	都市災害管理学 耐震性能設計論 木構造論 地震火災予測 津波火災予測 都市複合災害リスク評価 広域避難計画	*
	鋼構造耐震学 構造振動制御論 極限解析学 建築防災工学 構造ヘルスマニタリング	池田 芳樹
耐風構造学 風環境工学 大気災害工学 工学的意思決定論	丸山 敬	
計画系	建築計画・設計 環境行動・心理 医療福祉環境デザイン エイジング・イン・プレイス ダイバーシティ・デザイン	三浦 研
	日本建築史 日本都市史 文化財保存	*
	建築意匠 空間設計 環境造形論	平田 晃久
	建築論 生活空間設計学 建築空間論 居住形態論 景観デザイン論	竹山 聖

計 画 系	建築生産 建築プロジェクト・マネジメント	金多 隆
	人間生活環境学	*
	居住空間学 都市・地域計画 環境再生・共生 環境・景観設計 住居・住環境計画 居住空間の再編・再生	神吉紀世子
	災害と都市・建築 防災・復興計画論 災害建築・都市のデザイン 危機管理論	牧 紀男
環 境 系	温熱環境制御 建築と設備の省エネルギー 文化財保存 視環境工学	小椋 大輔
	都市と建築空間の環境調整 建築火災安全工学 自然光を利用した環境調整	原田 和典
	音環境 騒音・振動制御 建築音響 環境心理 音とコミュニケーション	高野 靖

\*印は、指導教授が未定であることを示す。\*印の分野についての研究内容及び指導教授等に関する質問がある場合、専攻長に問い合わせること。

## II. 指導教授の申告について

「I. 志望区分」を参照して、「指導教授申告書」（様式は工学研究科ホームページからダウンロードすること）により指導教授を申告する。申告にあたっては、指導を希望する教授に出願前に相談すること。

## III. 募集人員

建築学専攻 19名

## IV. 出願資格

募集要項4ページ「II-i 出願資格」参照

## V. 入学試験日程

入学試験は口頭試問によって行う。

日 時：2月13日（水）午前9時から開始する。午前8時50分までに桂キャンパスCクラスターC2棟1階ロビーに集合すること。2月12日（火）は試験を行わない。

場 所：京都大学桂キャンパスC2棟

試験室、時刻等の詳細については、桂キャンパスCクラスターC2棟1階ロビーに掲示し、集合の際にも指示する。試験室には必ず受験票を携帯すること。

## VI. 入学試験詳細

### (1) 試験内容

- (a) 修士課程修了者は修士論文あるいはその後の研究実績について、修了見込者は修士論文あるいは試験日までの研究経過について、その他の研究経歴を有する志願者はその研究実績について説明する（10分以内）。
- (b) 博士後期課程における研究計画を、3分以内で説明する。
- (c) 上記(a)項およびそれに関連する分野の学識、(b)項の博士後期課程における研究計画について口頭試問を行う。

### (2) 出願要領

工学研究科に提出する出願書類の他に、以下の書類を提出すること。出願書類とは提出先が異なるので注意すること。

#### (a) 提出書類

- (a-1) 指導教授申告書（様式は工学研究科ホームページからダウンロードすること）
- (a-2) 修士論文、または修士論文原稿（試験実施日までの成果）1部
- (a-3) 修士論文概要、または修士課程の研究経過概要、あるいはその他の研究実績概要（A4判用紙2ページ以内。日本語または英語で書くこと。）22部

#### (b) 提出先・期限

提出先：京都市西京区京都大学桂 C クラスター事務区教務掛（建築系）

提出期限：平成31年1月25日（金）午後5時必着

郵送の際も上記期限までに必ず届くようにし、また、書留とすること。

### (3) 入学試験当日に持参すべきもの

入学試験当日には、VIの(1)項の説明のために、VIの(2)(a)の(a-3)項の梗概の写し、および必要に応じてVIの(1)の(b)項のための資料、その他図表などの資料を持参すること。なお、説明においてはPCプロジェクタを使用できるが、PCは各自持参すること。また、トラブルに備えてスライドの内容を印刷したものを1部用意すること。

### (4) 入学試験結果の通知

募集要項11頁「VI 合格者発表」参照。

## VII. 入学後の教育プログラムの選択

博士後期課程入学後には下記の2種類の教育プログラムが準備されている。いずれのプログラムを履修するかは、合格者の志望と入試成績に応じて審査の後に決定される。入試区分「建築学専攻」の入試に合格することにより履修できる教育プログラムは下記の通りである。詳細については、募集要

項 16 頁の表を参照すること。また、教育プログラムの内容についても、募集要項の『X 教育プログラムの内容（融合工学コース）』を参照すること。

○ 前後期連携教育プログラム（融合工学コース）

・デザイン学分野

○ 前後期連携教育プログラム（高度工学コース）

・建築学専攻

入学後に履修を志望する教育プログラムについては、合格決定後の適切な時期に志望を調査する。合格決定後の指示に従うこと。

## VIII. その他

訂正や追加指示などが工学研究科または建築学専攻のホームページに掲載される場合があるので、適宜チェックすること。

<工学研究科ホームページ内の入学試験のページ>

<https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/graduate/exam1>

<建築学専攻ホームページ内の入学試験のページ>

<https://www.ar.t.kyoto-u.ac.jp/ja/admission/exam>

問合せ先・連絡先

〒615-8540 京都市西京区京都大学桂

京都大学 C クラスター事務区教務掛（建築系）

電話：075-383-2967

E-mail：kenchiku@adm.t.kyoto-u.ac.jp

参照 <http://www.ar.t.kyoto-u.ac.jp/>